

➤ 5日 火曜

詩篇



<指揮者のために。歌。賛歌。>

66:1 全地よ神に向かって喜び叫べ。

66:2 御名の栄光をほめ歌い神の誉れに栄光を帰せよ。

66:3 神に申し上げよ。「あなたのみわざはなんと恐ろしいことでしょう。偉大な御力のためにあなたの敵は御前にへつらい服します。

66:4 全地はあなたを伏し拝みます。あなたをほめ歌いあなたの御名をほめ歌います。」セラ

66:5 さあ神のみわざを見よ。神が人の子らになさることは恐ろしい。

66:6 神は海を乾いた所とされた。人々は川の中を歩いて渡った。さあ私たちは神にあって喜ぼう。

66:7 神はその御力をもってとこしえに統べ治めその目は国々を見張られる。どうか頑迷な者を高ぶらせないでください。セラ

主の偉大さを知った者が、自分のほめたたえる思いだけではものならず、「全地よ。神に向かって喜び叫べ。」と要求しています。万物が主をたたえることは当たり前のこととして、確信を持って言っているのが分ります。ここに信仰者の基礎があります。また伝道の確信があります。

自分は信じているけれど、それは自分だけで、他の人にまで勧めることはできないと思っているクリスチャンもいるのです。私たちは、「喜び叫べ」と宣言するように、全地に向かって主のすばらしさを宣言しましょう。人々にも宣教しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

